

交通安全NEWS

Monthly Report

2026. 2

特集 路面凍結に注意！

2025年12月に関越自動車道で67台が絡む大規模な多重事故が発生しました。この事故の原因の一つは、路面凍結によるスリップであると言われています。

今号では、重大事故になりうる路面凍結の特徴と安全に走行するためのポイントについて確認します。



1 路面凍結（アイスバーン）とは

路面凍結（アイスバーン）とは、道路上の水分が凍結する現象で、以下の3種類があります。

◆ 圧雪アイスバーン

雪がタイヤに踏み固められて、硬く圧縮された状態の路面です。昼間に車が多く通るところで、夜間に気温が下がると発生しやすくなります。



◆ ミラーアイスバーン

圧縮された路面の雪がタイヤで磨かれ、鏡のように反射するほどツルツルになった路面です。交通量の多い交差点付近などで発生しやすくなります。



◆ ブラックアイスバーン

道路が薄い氷で覆われた状態の路面です。降雪がなくても、路面が濡れていて気温が下がると発生しやすくなります。

※濡れているだけの路面と見分けることが難しいため特に注意が必要です。



路面の温度は気温より5℃程度低くなることもあり、気温が氷点下まで下がらなくても路面凍結（アイスバーン）が発生する可能性があります。